



高速しが

令和4年
(2022)
1月号

発行 滋賀県高速道路交通安全協議会・滋賀県高速道路交通警察隊

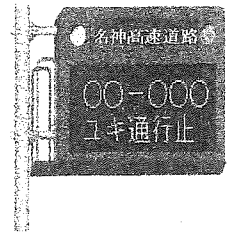
高速道路の安全走行ポイント

冬期の高速道路では、凍結等予期せぬ道路状況によって多重事故に発展することが多々あります。

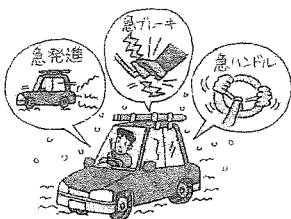
気象状況や路面の変化をしっかりと読み取り、状況に応じて危険を予測した運転に心がけてください。

・交通規制を確かめてから進入する

降雪、凍結等によって渋滞や時には通行止めとなることがあります。高速道路を利用する際は、交通情報板や各種の案内から交通情報を早期に入手し、交通規制を確かめてから進入することが大切です。



・ランプウェイには速度を確かめてから進入する



ランプウェイのカーブ地点や料金ゲート付近では、車両から落下した雪が凍結しアイスバーン状態となります。

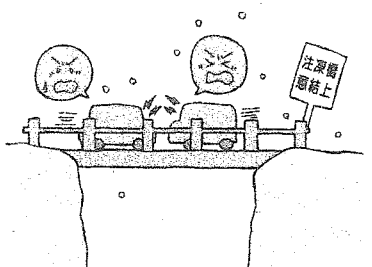
急加速急減速がスリップ事故を誘発することを認識し、焦らず慌てず「スピードコントロール」して、安全に走行するように心がけましょう。

・路面状況の変化や雪煙にも十分警戒

切り通しや高架、橋梁部、トンネルなど、路面状況の変化が予測される場所では、スピードを落として走行してください。

また、追い越した車が巻き上げる雪煙等で、突然視界が奪われることがあります。

降雪中は勿論、融雪時の走行にも十分注意してください。



路肩には危険がいっぱい

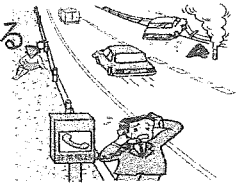
高速道路の本線上は、時速100kmの高速度で車が行き交う危険な空間です。

事故や故障でやむを得ず本線上や路肩に停車したとき、一般道路と同じ感覚で行動すると思わぬ事故に巻き込まれます。

緊急時、やむを得ず路肩等で停車するときには、次のことに注意して悲惨な交通事故を防止しましょう。

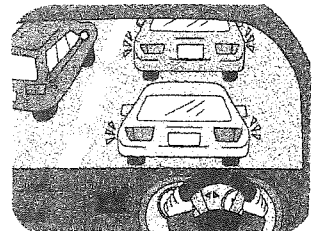
事故・故障等で停止した際の注意

- ・ ハザードランプ・発煙筒・停止表示器材で後続車に合図する。
- ・ ガードレールの外など安全な場所へすみやかに全員避難する。
- ・ 110番・非常電話・道路緊急ダイヤル(#9910)で通報する。
- ・ 本線や路肩を歩き回らない。
- ・ 事故当事者が道路上で話したりしないようにする。



安全走行に関する注意

- ・ 渋滞後尾で停止・減速する際は速やかにハザードランプを点灯して後続車に合図する。
- ・ 交通情報板やハイウェイラジオ等でこまめに道路情報をチェックする。
- ・ 故障やトラブルが起きないように、出発前には必ず車両の安全点検をする。
- ・ 前方にハザードランプの点灯を確認したときには、停止車両の状況や周囲の人に注意する。



高速道路上の思わぬ停止車両や人にご注意下さい!